

父母ヶ浜（ちちぶがはま）

香川県の西側の沿岸にある三豊市の父母ヶ浜はここ数年で非常に人気の高い場所になり、中でも、印象的な写真を撮りたいという観光客を引き寄せています。長さ1キロ、最大幅400メートルで、遠浅の海岸である父母ヶ浜が、特に絵のように美しく見えるのが干潮のときです。潮が引くと、海水が浜の窪んだ部分やでこぼこな部分に残り、浅い水たまりとなります。近くの山々に遮られるため普段は風が弱いのですが、風の弱い時に低いアングルから写真を撮ると、これらの水たまりがまるで自然の鏡のような役割を果たします。写真撮影にベストな時間帯は夕暮れ時で、小島の多く浮かぶ瀬戸内海の燃えるような水平線が壮麗な背景となり、浜辺に並ぶ水たまりの鏡を映えさせます。水たまりのそばでポーズをとる人々の写真を撮ったり眺めたりした後は、今や年間20万人以上の観光客を集めるようになった父母ヶ浜周辺に最近開店したカフェやレストランで軽い食事をとることもできます。ビーチは泳ぎたい人や日焼けをしたい人にもお勧めできる場所となっています。父母ヶ浜を年間を通して毎日掃除してくれている地元住民の努力のおかげで、滑らかで、全くと言っていいほどゴミのない砂浜を楽しむことができますでしょう。